

# 選挙ボランティア 自民党Vs民主党 中大生の9・11総選挙

下村太郎 (法学部政治学科3年)

村田直樹 (同2年)

田村 崇 (文学部東洋史学専攻3年)

三宮美帆 (経済学部国際経済学科3年)

<進行> 学生記者 池内真由 (法学部政治学科1年) 八並恵理子 (同)

4人が顔を合わせた。

9・11総選挙を、ボランティアとして実体験した中大生である。

自民党陣営、民主党陣営、それぞれ2人ずつ。進行係も議論に部分参加した。

内側で実感した選挙戦のすべて……「Vsトーク」は、包み隠さず、白熱した。

## それぞれのきっかけ

**八並** ここにいる8人は、夏の総選挙に学生のボランティアとして参加しました。これからその体験を存分に語っていただきたいと思います。そう、「TVタックル」のような熱い場面も期待しています。まず事務所に入るようになったきっかけから順にお話してください。

**下村** 私は弁論部辞達学会に所属しています。辞達の先輩である自民党前職の秋葉賢也候補（宮城2区Ⅱ小選挙区当選）から手伝わらないかという話がありまして、その関係で仙台まで選挙ボランティアに行きました。

**村田** 下村さんと同じ辞達学会で幹事長をやっています。下村さんは前幹事長。一緒に仙台に行きました。僕自身、秋葉先輩が4月25日の衆議院補欠選挙で出馬・当選した際にも行きましたので、選挙に携わるのは2度目になります。補欠選挙との比較などは議論のなかでやりたいと思います。

**三宮** 私は民主党前職の加藤公一候補（東京20区Ⅱ比例復活当選）の事務所でインターン生・学生ボランティアとして選挙をお手伝いしました。

**田村** 僕は、大学でやっていたインターンセミナーとか企業インターンシップよりも、議員の実際の姿、小泉（純一郎）首相をはじめ有名な議員も見てみたいなど、それが動機ですね。実際のインターン先は民主党・福山哲郎参議院議員事務所、選挙戦では民主党前職・前原誠司候補（京都2区Ⅱ当選）をはじめ京都の選挙区候補の応援をしていました。その後、民主党党首となった前原新代表の就任会見のお手伝いをする機会もありました。

**池内** ホットな現場にいらしたんですね。私はNPO法人ドットジェイピーの紹介で、この中では唯一地方議員である都議（民主党・初鹿明博事務所）のところでインターンをしてきました。都議の選挙区は、衆院選の選挙区では東京16区と17区にまたがり、民主党の2人（中津川博

郷候補と錦織淳候補ともに落選の支援です。

きつかけは生の政治家を見てみたかったというのと、議員さんたちと話すことを通して個人がどのような政治というものにアプローチしているかを見てみたかったからです。

八並 私は三宮さんと同じ民主党前職の事務所です。はじめNPO法人ドットジェイピーのインターンという形で加藤公一事務所に入ったのですが、その矢先に解散、インターンが中止になってしまった。未成年なので選挙活動はできなかったのですが、事務所のお手伝いをさせていただきました。インターンの動機は、もともと政治に興味があり、自分と遠い世界にあった政治を身近に感じてみたかった。メディアで流れる政治の姿はたぶん表側だけだろうとも思っていて、その裏側はどうなっているのか。それも見てみたかったんですね。

### 疲労困憊…夜はザコ寝も

池内 どんなことをしてきたか、

活動の中身に移りましょう。

田村 福山議員は参院議員だったので直接選挙とは関係なかったのですが候補者の応援に行ったり、議員がマニフェスト起草委員だったので、解散後はマニフェスト作りに取り組んでいました。加えて、昨年から政権奪取までの過程や政権をとったあとの運営を協議する政権戦略委員でもあったので、多忙な毎日でした。インターン生も郵政の委員会終盤の審議を10時間ぐらい見学しました。

結局、民主大敗となって、そのあとは前原誠司議員の番組取材の出演をどういうふうにしていくかなど、

福山議員は前原議員のマネージメン



トを引き受けてあわただしかったですね。

村田 仙台での応援は、8月27日から9月4日まで、ちょうど公示日

選挙戦の熱気そのままに、議論は120分に及んだ。

また、公示前・後通して、朝7時から9時まで駅前で街頭演説を2時間。議員のそばで旗を持って立って、通勤の方々を声かけました。

朝5時に起きて、7時から街頭演説、それから選挙区を回って、事務所に戻る。翌日の遊説日程の資料作りを夜10時、11時まで。結局就寝は1時ごろ、という生活をずっとしておりました。

その前の補選は4月25日が投票日で、僕は1年の春休みからボランティアとして行ったのですが、やはり選挙というのは公示前の活動でしつかり基盤を作るといのがいかに重要かということを感じました。

池内 三宮さんは？

三宮 インターン生としては7月末から入っていたのですが、選挙期間中は公示日から投票日まで、毎日朝の9時くらいから夜は終電に間に合わないこともありました。中心のスタッフとしてほとんど電話かけのお仕事をしていました。たまに外に出て街頭演説をお手伝いすることも

ありましたけれども。

池内 村田さんと同じ事務所だった下村さんはどうですか？



三宮美帆さん

公示期間中は議員個人の名前が入っているものではないということで、あくまで自民党の活動としてお宅を訪ねるという形でした。朝の駅立ちもやりました。夜には自転車にのぼりを立てて、「秋葉賢也よろしくお願ひいたします。郵政民営化しつかり進めてまいります」と声をかぎり

に連呼。

中には、疲労骨折した方もいましたよ。最後は電話かけもしました。

選挙の投票日、当日の午後1時過ぎくらいから電話をかけ始めました。特に後援会の方々に対して「投票は済まれましたか」とか、もしくは「投票ありがどうございました」という

ダメ押し電話作戦です。

田村崇さん



寝泊まりは仙台の事務所。事務所

といつても、新しい選挙事務所ではなく、普通の一軒家を事務所にした、洗濯機も何もないところ。石けん

で手洗い洗濯も体験しましたよ(笑)。

先輩がいらいらする手前、なかなか夜も先輩より先に寝られないという

のありました。常に疲労がたまっていました。それに先輩がいらいら

しやるのでベッドは使えなかったのです。僕は廊下で、しかも敷布団がないので、ザコ寝で9日間を過ごしております(笑)。

### お祭り選挙の舞台裏

八並 仕事を通して感じたこと、ボランティアをやる前とやる後で政治に対する見方が変化した、といったことがありますか。

田村 郵政の委員会を見学したときのことです。10時間もの議論を見たあと、家に帰ってテレビをみたらですが、なんだコレと思いました。

議論の核心部分や郵政民営化についての民主党の質問は報道されるのに、それに対して竹中平蔵担当相や日本

郵政公社の生田正治総裁が答弁に戸惑うシーンが報道されない。国民に見てもらいたいというシーンがたび

たびあったのです。テレビでは、小泉さんがうまくはぐらかしている

か議場が盛り上がったとか、そういう場面しかやっていなくて……。テレビを見るだけではうまく伝わらない部分が多々あるなと思いました。

今回小泉首相はとりあえず郵政民営化、民営化と言っていて、中身の議論は伝えられないまま、解散をして小泉首相は8月9日の会見で「国民に真意を聞きたい」と。結局そのままの流れで、刺客の話とかホリエモンとかを中心に、政治・政策の話よりもワイドショー的な選挙になってしまっていた。

八並 テレビと新聞では違うと思いますが報道のあり方の問題ですね。

下村 政権与党側の露出度が高くなるのは仕方がないと思う。メディアでは前回の選挙あたりまではTBSやテレビ朝日はわりと民主党寄りの報道等もしていたと思うのです。

批判もあって今回それがなかなかできなくなってきたというのが一つあるかと思えますよ。安部晋三・自

民党副幹事長(当時)らへの取材方法を含めた朝日新聞VSNHK問題もあって、テレ朝もかなり慎重になっ

た。TBSは楽天・村上ファンド

がらみで大変(笑)。そんななかで、反体制といった言い過ぎかもしれませんが、民主党寄りのメディアの

下村 活動内容としてはだいたい

同じです。たとえば、各家庭にパンフレットをお渡しするポスティング。

力は弱くなってしまったという側面があったのではないかと、僕は思います。確かに生田総裁が戸惑うところ



下村太郎さん

池内 もっと身近なところで、例えば電話かけをやっているの体験談は？

三宮 時々議員を応援してくださっている方もいらっしゃいましたし、他党支持の方ももちろんいらっしゃる。ガチャンと切られるということはほとんどなかったですね。お話しはちゃんと聞いてくれたり、もしくは他党の方でも結構長くお話をすることはあったりするので、そこは個人差があるかとは思いますが。

池内 消耗感というか、がつくり疲れちゃうことありませんでしたか。

三宮 やはり慣れてない人にとってはけっこう厳しい仕事ではあると思います。私は選挙をやる前から電話のアルバイトをしていたので、ほとんどそういうことに関してはヘコまない……。

下村 電話かけのボランティアは、やはり労組の人も？

三宮 いえ、有権者の方だったり、学生のボランティアであれば成り立っていましたね。

八並 加藤事務所はずっとイン

ターンをよく受け入れて来て、ちょうど私が入った時は16期目だったので、それまでの15期の学生たちが選挙だからというので呼ばれて、そのインターン生がまた友だちを連れてくるなどしてどんどん広がっていきましたね。ボランティアの学生がほんとに多かったです。

村田 大規模な活動というのは一つの目的というか、みんながやるぞというような心構えがないと一つかまとまらないと思うのです。しっかりと組織化してから選挙に取り組んだんですか。

八並 そうですね。事務所の秘書の方がいて、その下に学生で秘書をやっている人がいて、それからボランティアの中でも今回リーダーを請け負う人たち、という体制が選挙前に決められていました。

### 議員インターンシップ事情

下村 ところで、議員インターンシップをブリッジするNPO法人・ドットジェイピーですが、インターン先は民主党系議員が多いんですか。

池内 ドットジェイピー関東エリアマネージャーの笹沼翔さん（総合政策学部政策科学科3年）にも取材をしたのですが、関東地区は民主党議員の登録数が多いとのことですね。関西地区は自民党が多い。トータルというと半々になるということでした。今回、中大生で参加したのは9人と聞きました。

下村 学生のインターンが行ける事務所は都市部ですよ。都市部の議員だけだと思うのです。ドットジェイピーの活動をしているところも東京だとか関西でも大阪が多いのではないかと。やはり学生の数が多くないといけない。僕の地元は山口でして、山口ははっきりいって大学もほとんどない。選挙はどうやっているかというところ、もちろんボランティアの方々がいらっしゃるのですが、やはり主婦の方だとか、企業から派遣されている方々です。学生のインターンなんて全然ない。

僕たちが行った仙台も地方だけど、わりと発展しているので東北大学の学生ボランティアがいて、その点で



村田直樹さん

るなどは一度も見たことないですし、やはりメディアのあり方という問題はありますね。

は似通っているのかもしれませんが。ただ僕らをいれて4、5人という程度です。加藤事務所とはずいぶん違う。



池内真由



八並恵理子

《10月25日、神奈川県10区で落選した民主党前職・計屋圭宏容疑者が公職選挙法違反（買収）容疑で逮捕さ

れるという事件が起きた。私設秘書に指示して神奈川県大生5人に現金15万円の報酬を渡した疑い。地域差に加えて、金を出しても運動員がほしいという選挙事務所事情を物語る象徴的な事件である。公選法の規制も厳しい。公選法では、選挙カー運転手、ウグイス嬢など一部の運動員にしか、給料を支払ってはいけないことになっている。そして、その金額にも規制がある。そのため無償で選挙活動を手伝うのは、「宗教がらみ、もしくはお年寄りが多くなってしまう」（初鹿都議）そうだ。近年、議員インターンシップを斡旋するNPO法人が増えてきた背景には、ボランティアの運動員を得るためという、議員側からの要請も一因となっているのだろう《

### 企業インターンとどう違う？

池内 議員とじかに接して話すなどの機会もあったのではないのでしょうか。そのときのエピソードは何かありますか。

田村 福山参院議員は、事務所に

来てすぐに「民主党本部に行ってくる」とか、「京都に行ってくる」とかだったので、1日に会うのは2、30秒。選挙中は「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」くらいでした。

最近、インターンが終わってから飲み会を1回だけ赤坂でやってもらいました。夏期のインターン生である東大生2人と僕含めて3人、春のインターン生の中央、明治大生ら計6人が、福山議員と政策秘書さんにちに招かれて。そのとき、議員と3、4時間くらいやつとゆっくりしゃべる機会がありました。

「インターンする意味は何ですか」「今回インターンしてみてどうなの」と聞かれて、春に福山議員のもとでインターンをした、公務員志望の明治の学生が、「ステップアップとして国交省と厚生労働省に行ってみたのだが、自分の想像とは違ってたよつとがっかりした」という話をしたんです。

議員は、「チャレンジしないで自分なりのイメージで、就職してしまうと、実際は違ったとき、仕事が自

分の体に合わなくて転職してしまうとか、仕事が面白くないと思ってしまふ。別に僕のところとかでなくてもいいから、とりあえずインターンでも何でもいからやってほしい。

そうすると本当の姿が見えて、自分の思っていたところと実際のギャップが埋まったりとか、自分がその仕事に向いている、向いてないを決められる。やつてみると、その経験が、業界を選ぶ際でも消去できる道、つまり、食わず嫌いではなくて、食べてみて嫌いだとか好きだとかが分かる一つの判断材料になる」と話された。

僕はこれから就職なのですが、選択肢がたくさんあって、どれを選んでもいいかという判断材料が全くないのです。インターンをして社会の一面というのを見て、それにいろいろな仕事をこまごまとやつてみて、自分はどういう仕事が好きだとか分かったりした。議員の言葉に、なるほどと納得しました。

八並 議員インターンシップもあれば、企業インターンシップ、行政インターンシップもありますね。い

くつもある中で、たまたまオプショ  
ンの一つとして議員インターンシッ  
プに参加されたのか、あるいはやは  
り他のインターンシップとは違うも  
のを求めて参加されたのか。その点  
はどうですか。

**田村** 僕は文学部で、もともと文  
学部は政治から遠いイメージがある。  
一番遠いけれど僕らの生活にとって  
政治が一番近い身近なものだから、  
「一番遠いけど身近なもの」をやっ  
てみたかったんですね。企業でもよ  
かったのですが、就職したら議員に  
会う機会もないので、学生の間に一  
回、取り組んでみたいというのがあ  
りました。

**下村** 僕は企業にもインターンし  
ていたんですけど、僕の中では政  
治の意味合いはやはり違います。

僕自身は政治の世界に飛び込む  
と考えているのです。しかし、いき  
なり政治の世界に入るよりも社会を  
見たうえで出るべきだということ  
を多くの方に言われたので、どこか  
就職したいと思っていました。それ  
で、シンクタンクに興味があったので、

UFJ総合研究所のほうで3カ月間  
ほどインターンをやりました。政府  
や政党に対して政策提言するのがシ  
ンクタンクではないかと思っていた  
んですが、実はそうではないと気づ  
きました。政策研究を練っているシ  
ンクタンクは三菱総合研究所とUFJ

J総合研究所くらいなのです。それ  
でも業務の1割程度しかない。残り  
の9割は結局、UFJ総研ならUFJ  
銀行だとか関係企業グループの調  
査研究をしているところなのだとい  
うことがわかりました。

しかも、僕がやっていたのは厚生  
労働省から委託された仕事だったの  
ですが、官庁が何か政策を出すとき  
にその調査を依頼する形で多少は政  
策づくりにコミットできるけれども、  
アメリカなどのシンクタンクとは全  
然違う。たとえば、共和系系の戦略  
研究、国家政策を提言するハドソン  
研究所とかブルッキングス研究所と  
かがある。それと比べると、日本の  
研究所は果たしてシンクタンクなの  
か、と思いました。

**田村** 日本はそれが全然なくて、

官僚組織しかないわけだよね。それ  
が、逆に世界最大のシンクタンクと  
も形容される。

**下村** 霞が関、ですか。僕は正直  
シンクタンクに関してはちよつと疑  
間を感じてしまった。夏の間は今度  
は大和証券S M B C（ライブドア  
フジテレビ買取劇ではフジ側、村上  
ファンドvs阪神タイガースでは阪神  
側の戦略アドバイザーに）で10日間  
ほどやりました。それで金融のほう  
が面白いと思ったのですが、ただ僕  
にとつて、企業はあくまで就活のた  
めにやったのであって、政治は夢の  
ためにやった。その点では全然別の  
ものだったと思います。

### 歓声と落胆

#### —そのとき選挙事務所は

**池内** 総選挙に戻りましょう。9・

11午後8時、投票終了・開票開始と  
同時に「自民歴史的圧勝」とテレビ  
各局が流しました。それを見た瞬間  
の気持ち、選挙事務所の情景などは。

**村田** 自民庄勝とポーンと出てき  
て、オオッと。実は秋葉先輩は4月

の補選でやつと議員になって、まだ  
4カ月しか衆議員やっていないんで  
す。なのにまた選挙かと、ポランティ  
アも本人もボヤキというか落胆気味  
なところがあつたんですよ。それが  
今回13万票対9万票と4万票差の  
圧勝だったので、喜びというより安  
堵感でした。

**池内** 民主党の加藤さんの事務所  
は？ ハラハラドキドキが続いたわ  
けでしょう。

**三宮** 確かに最後までリードされ  
ていましたが、零時過ぎに比例で復  
活当選してわあつと喜んだという感  
じですね。

東京の小選挙区で勝てたのは菅直  
人さんだけだったという厳しい状況  
ではあつたけれども、みな次に向け  
て頑張つて行くのではないかと前向  
きでした。

**八並** ただ比例復活というのは複  
雑でした。同じく加藤事務所で学生  
秘書をしている中村彩乃さん（経済  
学部国際経済学科3年）は、当選し  
た瞬間は正直うれしかったけれど、  
比例で当選するというこの意味が

分かるにつれ、だんだん悔しくなってきた、と言っていました。本当にその通り。政治家にとって、比例で通ると小選挙区で通るのは雲泥の差があるんですね。同じ政治家でも与えられる仕事、ポストも違うし、同じ選挙区内に小選挙区で当選した議員がいるわけだから、地元での活動もやりにくくなる。厳しいなと思いました。

**池内** 私の事務所は大惨敗組でした。8時の出口調査で民主党が完ぺきに負けるだろうと言われてしまっただ。候補者がどのタイミングで事務所に顔出しするかというのが問題で、都議も真つ暗になっていました。結局、事務所についてから夜中の1時まで、比例まで見守っていたのですが……。候補者が来てからは「ありがとございまして、お疲れさまでした」と握手をして回ったのですが、ウグイス嬢さんとかスタッフの方もみんな泣いていました。でもそのあと徹夜で大惨敗のチラシを作って、朝7時半から駅頭に立って配りました。結果を伝えるのも議員の仕事な

ので。支持者の人になんで負けたの、なんであそこまで惨敗だったの、と突っ込まれながらやったのが辛かったですね（東京16区は自民14万対民主8万、17区・自民16万対民主6万の文字通り惨敗だった）。

**八並** 京都2区の田村さんのところは？ 民主党といっても前原さんだから雰囲気は違ったのでは。

**田村** 京都では民主党は健闘しました。福山議員を含め若手議員は選挙の結果が出て次の代表に前原誠司さんという、そちらの準備に入っていました。

《京都の小選挙区6区中、3区ずつを自民党、民主党が分け合い、まさに5分の戦いだった》

**八並** 選挙後、前原さんは民主党代表に選出されたわけですから、すごいドラマですよ。その事務所にいたということも。

**田村** そうなんです。福山議員らは連日、民主党本部などで会議をしていたので事務所にはほとんどいなかった。事務所にもずっと電話してました。いろんな議員と連

絡をとりながら、党再建の手はずについての打ち合わせだったのしょう。

### 自民圧勝をこつみる

**池内** 選挙の結果、これほどの自民圧勝について、どのようにみていますか。

《解散時と選挙後の議席増減は次のようだった。自民党212↓296▽公明党34↓31〓自公合わせて3分の2（320）を超える327に▽民主党177↓113▽共産党9↓9▽社民党5↓7▽国民新党4▽新党日本1▽他1》

**下村** いろいろ原因はあるとは思いますが、一番まずかったのは民主党のマニフェストでしょう。非常に見せ方がまずかったと、僕は思うんです。例えば一つ挙げると、公務員の2割削減ですか、総人件費で。けっこう画期的ですよ。というのは今まで自民党が公務員削減すると言っている、郵便局の10万人をどうやって減らしたのかという、結局、郵便局で雇っている人をアルバイト扱いみたいにする。それによつ

て名目的に公務員を減らしてきた。でも総人件費で民主党はくくついているわけだからそれは非常にいい。でもそれを国民に対してあまり見せてなかったですよ。だから2割削減してしまつたら行政サービスが減るだろうと思ってしまう人のほうが多かったわけです。

いま言ったのはマニフェストにもいいところがあったという点ですが、マニフェスト自体まずかったのは、たとえば国立追悼墓地を作るといふところ。世論が分かれている問題に対して、思いっきり書いてしまった。イラク撤退もそうだと思う。そういう外交問題で自民党との差を大きくつけてしまったというところに、僕は民主党の大きな敗因があるのではないかと。やはり国民からすると不安なわけです。少しは差を出すにしても外交で自民党と本能的に違うことをやってしまうと。だから外交では民主党はあまり変わらない、でも内政では今までのような癒着ではないしがらみのない政治をやります、

というふうなアピールすれば、結果

は変わったのではないかと考えています。

池内 田村さんは福山さんがマニフェスト起草委員だったということですが、評価について何か。

田村 できたあとに読ませてもらったのですが、今回はかなり政権交代を意識していて、どこかで差をつけてこれでどうだという対抗的なものにしたかったと思うのです。マニフェスト自体は有識者・学者の方からの評価は高かった。自民党のものには120項目を並べて、スローガンに近い理想論のようなもの。ただ民主党案は裏づけに乏しい点もあつた。それは、政権をとったことのない民主党の情報量の不足が原因なんですね。政権をとったことのない民

三宮 私も民主党のマニフェスト

を読んできてわかりにくいというのは

正直感じましたし、マニフェスト自体に問題があつたとは思うのですが、マニフェストが浸透していないという点にも問題があると思つています。マニフェストをどうやって入手するのか知らない国民が圧倒的に多いと思うのです。選挙期間中も郵送はできないし、街頭演説やつているところで配るか、もしくは事務所に直接来てもらうしか配る方法がないとなると、マニフェストを手に行き届ける国民は本当に少数なんです。インターネットで見られますと言つても、インターネットがつかないところもあるわけで、高齢の方だつたら使えない可能性もすごく大きい。

となると、政策を訴えていくところでなかなか意思疎通ができないというか、こちら側のメッセージを伝えることができにくい。今回メディアが小泉さん一色だつたのにも問題があると思いますが、メッセージ自体を伝えられないということにも問題があるのではないかとは思いま

した。

《マニフェスト配布についても公職選挙法で定められている。選挙期間中のみ、選挙事務所、演説会場の配布は許可されるが、戸別郵送、新聞の折り込みなどは禁止されている》

村田 同じことを僕も痛感しました。選挙ボランティアが終わって帰ってきて、地元の友だちと飲む機会がありまして、俺は自民党でやつていたと言つたら、マニフェストを全然配らないじゃないかと言われたのです。それは限界があるからしょうがないと弁明したのですが、それでも本当に政策を訴えたかつたら配れと言われて。確かにこれは問題だなどと思いました。

### 小泉首相論

八並 今回の選挙は、どの党首を選ぶか、という国民投票的なものになつたのも特色ですね。そこで小泉首相論を聞かせてください。

下村 歴史が後から決めるところでしようが、小泉首相は間違いなく

宰相の一人として後々語り継がれる、そういう位置付けにはなるのではないかと思えます。ちよつと偉大な、と言つたらオーバーかもしれないけれど。

今回は本格的に政権交代の選挙が繰り広げられた。確かに、党首選びであり、党選びであつたと思うのです。それで民主党としては残念ながら惨敗、自民党が大勝したのは小選挙区制の醍醐味だと思うので、次は民主党が勝てばいいだけの話ではないかと、僕はそう見えています。僕は自民党でやつてはいましたが、やはり政権交代は必要だと思つたのです。いいか悪いかは別にして、長くやつていくといういろいろながらみがついてくる、権力は必ず腐敗するというのがある。

八並 小選挙区制ではこれぐらい大差で決するのだということがはつきりして、二大政党制というのが明確になつた。その意味では、成立当初いわれた政権政党に有利に働く「ゲリマンダー」的な側面というよりも、ファイティ・ファイティの

可能性で民主党にもチャンスが出てきたのは大きいと思います。

民主党の総花的なマニフェストに比べて、小泉さんは、愛読書の加藤廣著『信長の棺』に出てくる「捨万求一」——万を捨てて一つを求める。つまり「改革を止めるな」という短いフレーズと郵政一本でいきましたよね。そして「殺されてもいい」という決めゼリフに、ガリレオ発言。

それでガリレオがガリバーになっちゃった、みたいな。

**三宮** 私は個人的には小泉さんは好きではないのですが、インパクトがあるというところでは同意します。  
**池内** ある意味で、民主党のお株を奪った感じの言い方ですよ。

**三宮** そうですね。とにかく反対勢力に負けずに自分の信念を押し進めるというところがかなりインパクトがあるし、メディアも取り上げるし、そこではやはり強かった。民主党が惨敗したといっても小選挙区での票で見ればそんなに大差はないわけ、もし次の選挙があったときは今回のような結果にはならないので

はないかと。小泉さんは来年9月で退陣するといっているし、次の選挙で自民党のやってきたことに対して国民がどういうふうな判決を下すかが、すごく楽しみではありますね。

《得票率は自民党47%、民主党36%。それが小選挙区の議席数では4倍以上に開いた》

### 新旧・民主党の顔

**池内** 都市部の無党派層が自民党に投票したのも象徴的ですね。競争社会のなかでのいわば「負け組」、社会的弱者でもあるフリーターやニート、場合によっては引きこもりの青年も、親の言うことは聞かないけれど小泉さんの言葉で投票に行っただ。つまり引きこもりの子も投票所に行かせるくらいなの、ある種の言葉のインパクトですよ。

そして保守革新という構図が自民対民主という構図ではなくて、自民党内における造反議員対小泉さんという構図の中に吸収されてしまった。そこが劇場と化して民主党が蚊帳の外にいるという不思議な構図になっ

てしまった。腰の座ったケンカ師の小泉さんに比べると、岡田克也・民主党代表はなにか生徒会長。そんな印象も受けたのですが、

民主党は代表が代わりましたが、前原さんは党首の顔としてどうでしょうか。

**三宮** なったばかりということもあって、まだ分からない部分が多いので、これからどういうふうな民主党の党首としてやっていくのか期待したいと思っています。

**田村** まず表情は良くなったのではないか(笑)。僕らの事務所だけかもしれませんが、岡田さんは「怪物くん」のフランケンに似ている、なんて言ったり。表情が硬く、あまり笑わなかったし、それにちよつと話が重かった。小泉さんみたいに一言で新聞の一面を飾れるようなコメントがなかったという点で注目を集められなかったのではないかと思います。まじめで売ったのだけけど。今回、前原代表になってそれを反省して、百八十度転換ではなくて、郵政民営化は認めるところは認める

けれど、国でやれるところは国でやるというように、大枠は認めつつも民主党なりの色を出していけるようにしていけばいいのではないかと。労組との決別とか、今回の惨敗原因を是正する姿勢を出しているので、現状を打破してくれると期待したいと思います。

**村田** 利益の表出・集約という政党の機能を考慮すると、必ずしも労組という利益団体が「悪者」となるわけではないけれど、ほんとに労組と決別できるのかなあ。

**田村** ウーン……。

### 「非日常」の体験通して

**八並** では最後に、自分にとつての9・11選挙とはどのようなものだったか総括の弁を。

**村田** 僕は補選のときと2度経験して思うのは、ボランティアの方々と一緒に働くということが本当に面白いということです。例えば、秋葉先輩を支持して会社を休んでも来てくれるような人と2人で車で移動したりすると、いろいろなことをお

話しするのです。

その年齢層も30代の方もいれば、引退なさった60代、70代の方もいらっしゃる。そういういろいろな世代からの、いろいろな視点からの意見を交換することで、ものすごく視野が広がるのではないかと思います。それが企業のインターンシップと違う選挙ボランティアに携わるメリットだと考えています。

**下村** 僕も村田君に似ているのですが、政治家は政治家個人でなっているものではないと思う。結局、政治家一人の力では選挙に勝てないわけですよ。時に自民党の力を借り、小泉首相の人気を借り、ボランティアの力を借りて、みんなに押し上げてもらっている。たとえばポスティングにしろ、ボランティアの人たちが外で活動するからこそ、投票してもらえ。そういう意味で大きな組織を動かすときだとか、大きなイベントをするときには、本当に人と人が協力してやらないとできないものなのだ。痛感したところ。なんにせよ、選挙を体験してみるとい

うのは根性をたたきなおすいい機会ですよ(笑)。

**三宮** 確かに、市民や有権者やボランティアみんなに支えられてはじめて選挙も国会での議員活動もできるのだと感じました。私は今回の選挙では電話かけをやらせてもらったのですが、何十人という、しかも年齢もさまざまなボランティアの方たちと一緒にやって、自分自身がこんなことができるのだとか、頑張ればこんなことができるのだということを実感しました。今まで見えなかった自分が見えたり、自分を知ることができるといのが大きいですね。周りの学生のボランティアを見ていても今回の選挙で自分は変わったと思っている子もいたり、キラキラ輝いたなというような子がいたり、選挙にかかわらないうボランティアで政治にかかわるといことは、学生、特に若い世代にとってはすごく大きな、貴重な経験になると思います。

**田村** ヘンな言い方ですが、議員は悪代官ではない。それが一番の実感。橋本龍太郎元首相らの日歯連

事件などを見るにつけ、結構デーンとふんぞり返っているのかと思っただけです。でもうちの議員は京都だったので、京都と東京を行ったり来たり、一日に2-3往復するときもあるほど働いていて、議員の仕事は大変だな、とつくづく痛感しました。

それから委員会とか両院議員総会で民主党の全議員に会ったりした経験。自分のこれまでやってきたこととは明らかに違って、視野が広がったし、学生時代でないと体験できない貴重なものでした。

**八並** 政治の世界というのがどういふものか全然わからなくて、特に国会議員ともなると、密室の中で少数の人たちでこそこそと決めているというような悪いイメージがあったのですが、加藤公一さんという人がオープンでフレンドリーな方でしたし、国会議員に対するイメージがかなり変わりました。国会議員はちゃんと有権者の人と向き合おうとしているのだということを実感できてよかったです。今はまだ投票権がないので投票することはできな

いのですが、自分が投票するときになったら、ちゃんと考えて投票しようと思うようになりました。

**池内** 私も今回は未成年というところで自分がやる仕事とかも限られていたのですが、未成年だからやってよかったと思うこともありました。

選挙の際ポスターだけで選んでいるという人も時には聞くのですが、自分が選択する立場になったときにどういふふうな考え方で投票に挑めばいいのだろうか、どうやって選ぶのだろうかと思っていました。

**政治家は遠い存在、一般の企業とかで仕事をしている人と比べても」と別のものだと思っていたのですが、その壁が壊れた感じもします。ただ私たちと違うという点は、うちの議員が「俺がやらなきゃ誰がやるんだ」と思いながら政治家をやっている」と言っていたのですが、そういう自分の国に対する思いが本当に強い。選挙では自分たちが政権を選んでいく立場、自分で選んだと思えるようになったことが一番大きいことでした。**